

いぶし銀

I B U S H I G I N

2017
冬号
Vol.6

寡黙だが、
心は熱く



CONTENTS

- ◆ Check! 第140回 秋田県種苗交換会 in 由利本荘市
- ◆ わかば会レポート 第1回「介護塾」を開催しました
- ◆ 訪問薬剤管理指導による、治療に対する意欲向上・病気改善について

TAKE FREE

わかば会 REPORT

第1回 介護塾 を開催しました!!

「最期まで口から食べる」を応援する!

前回の摂食嚥下セミナーに続き、10月27日に社会福祉法人わかば会にて、管理栄養士 高橋瑞穂先生をお招きしてセミナーを開催いたしました。

高橋 瑞穂 先生 プロフィール
 山形県立中央病院で管理栄養士として勤務。急性期基幹病院で先頭に立って摂食嚥下障害の方への経口摂取を進めておられる先生です。MED プレゼン 2016@秋田にも出演。大注目の管理栄養士さんです。

食べ物が口に入ってから飲み込むまでの過程を皆さんにスナック菓子を配って食しながら丁寧に指導していただきました。飲み込み不良の方のためのとろみのつけ方講座も目からうろこでした。いつまでも口から食べる喜びを感じてほしいのは誰しものこと。高橋さん自身も「口から食べる幸せを守る会」理事長の小山珠美先生と出会い、胃ろうや経管栄養に頼る自分の考えが180度変わったということでした。わかばでも口から食べる幸せを利用者様に感じていただく為、今後も学び続けます。



社会福祉法人わかば会 秋田県由利本荘市石脇字田尻野7-3 TEL. 0184-74-3013

訪問薬剤管理指導による 【日本糖尿病学会 第55回東北地方会】 治療に対する意欲向上・病気改善について

11月11日に『日本糖尿病学会 第55回東北地方会』にて一般講演をさせていただきました。発表内容は、訪問薬剤管理指導により治療に対する意欲が向上し、病気改善へと向かった2型糖尿病患者の症例です。私が患者さん自宅へ訪問するきっかけとなったのが今年の3月末、当初通院が困難であり、処方された注射剤（血糖値を下げる薬剤）の使い方が難しいということで、注射の使い方を指導するということでした。週に1回の訪問をしました。注射は5回目の訪問で1人で出来るようになり、必要に応じて管理栄養士同行による栄養指導を行ないました。注射の手法に加え、適切な栄養指導、患者さんからの治療に対する質問に対して納得いくまで答える、という我々の努力も重なり患者さんの血糖値、体重は大幅に改善。数値が良くなるたび患者さんの表情が明るくなり、笑顔、外出、運動の回数が増え、何よりも会話の回数が以前よりも多く増えました。数値の改善は顕著であり、これは薬剤だけの力とは考えにくく、病気が改善していくことにより将来の希望が見え、もっと前向きに努力していこう、という患者さん自身の意識の大きな変化の結果の表れだと言えます。最初は注射の使い方の指導だけが目的の訪問でしたが、薬剤師の関わり方によっては病態の改善のみならず、その人の将来に明るい希望を与える可能性があるということを感じました。



池田薬局 中央店 木村健太さん

池田グループ広報誌 いぶし銀 2017 冬号 発行日：平成29年12月1日 発行：株式会社池田 〒015-0051 秋田県由利本荘市川口字八幡前261 TEL 0184-22-2228

今号の「いぶし銀」

1	2
3	4

1. 池田薬局佐竹通り店 ◆高橋彩花さん 「自分自身のスキルアップを目指し、さらに良い薬局になるよう頑張ります。」
2. 能代営業所 ◆明石智昭さん 「地域農業発展の為、しっかりサポートしていきます。」
3. 池田薬局能代店 ◆田中大夢さん 「地域の皆様に役立つ薬局を目指しております。」
4. ショートステイわかば ◆佐藤由里絵さん 「利用者様が安心して過ごせるようにサポートさせていただきます。」

いぶし銀 I B U S H I G I N

Check! 第140回秋田県

種苗交換会

in 由利本荘市



株池田 本荘営業所
神田 大樹さん

今年の種苗交換会が10月31日～11月6日の7日間で開催され、弊社も出店させて頂きました。期間中、我々のブースに足を運んで下さった皆様には深く感謝申し上げます。今年は出展場所にも恵まれ大勢の方にご来場頂きました。その際「農業アンケート」の記入にご協力頂きました。これは生産者の皆様がお抱える問題や課題、また要望や希望を聞き取り、今後の弊社の方針へ繋げるべく実施致しました。皆様のご協力により期間中に1000枚を超えるアンケートを頂きました。本当にありがとうございました。さらなるサービス向上へ向け大切に使用させて頂きます。また、今回は「ドローン」「農業散布ポート」のような農業に関する新しいアイテムや「超大型パイプハウス」などの園芸設備の展示も行いました。ご来場頂いた皆様の今後の活躍に少しでもお役に立てて頂ければ幸いです。今後ともよろしく願い致します。



格納庫ハウスを利用した出店ブース



沢山の方々にご来場いただきました



無人ヘリ・ドローンの実演の様子

◆水耕栽培システム

このシステムは特殊不織布を使用した水耕低密度密植栽培です。水耕栽培では溶液の供給方法、肥料分、酸素濃度など多くの設備と技術が求められます。これらの問題を特殊不織布の給水性、保水性、浸透性、肥料保持性など高機能特性を利用し、非常に簡単な溶液管理、栽培管理を確立しました。この栽培方法で作られたトマトは、糖度8以上の「高糖度トマト」から、糖度6クラスの「美味しいトマト」まで作れます。独特の風味と食感があり、棚もちが非常に良いため通常のトマトとの差別が有利に行えます。従来の水耕栽培の難しさを解決し、誰でも簡単に栽培できます。栽培指導から販売までご協力させて頂きます。



重兵衛トマトは、この手法で栽培しております。

◆養液土耕栽培システム

養液土耕栽培システムは、省力、ノンストレス、低コスト栽培、環境に優しい合理的施肥、そろった生育が特徴となっております。種苗交換会では4件～5件の見積り依頼がありました。主に施設園芸をされている方からのご依頼でした。作物は、イチゴやトマトなどがメインです。また、お話を聞く中で全ての人が養液土耕システムを新規として導入し、効率面、作業面を軽減されることを見込んでおられました。システムは、タッチパネル式で管理が容易でストレスなく養液栽培ができます。また、メーター管理をすることで現在の栄養状態を把握することができ、栽培がスムーズとなります。ハウスで施設園芸、水耕栽培などをされている方にはもってこいのシステムだと思います。



◆マルチコプター（ドローン）

今回の種苗交換会では来秋販売となるヤマハ製ドローン YMR-01 を始め、秋田スカイテックが取り扱いしている4社5機種種の展示を行いました。それぞれ異なる特徴をもつ農業散布ドローンやリモートセンシング用ドローン (skymatix 製: はかせ) に来場の皆様は興味津々のようでした。我々スカイテックは機体販売及びメンテナンス、認定証取得のアカデミー、請負防除の事業を無人ヘリ・ドローンで行っています。ドローンや無人ヘリに関してご不明な点やご質問がありましたら、どうぞお気軽にご相談下さい。



◆産業用無人ヘリ・散布ポート

今年度の種苗交換会ではヤマハブースを設け、産業用無人ヘリコプター FAZERR、散布ポート WATER STRIDER の展示をしました。また会場近くの圃場では、次年度から販売される FAZERR に新機能として追加されるターンアシスト機能を使ったデモフライトを行いました。ターンアシスト機能は送信機の散布スイッチの ON・OFF で設定した幅で自動に横移動する機能です。ヘリ所有者の方々も興味を持たれる方が多く、オペレーターの負担軽減に有効な機能となっております。



◆超大型パイプハウス（格納庫ハウス）

格納庫ハウスはトラクターやコンバイン、田植え機械などの農機具を収納するのが目的となります。大規模農家が増えている中、農機具の収納場所確保に困っている農家が増えてきています。また、自然災害が増えている中、頑丈な格納庫が求められてきております。そんな中、池田としては八角でできた通常のハウスよりも頑丈な格納庫、また3年補償付の格納庫の提案を行いました。種苗交換会で実際に農家の方たちのお話を伺うと、自然災害に対する対策を悩んでいたりと、今よりも大きな格納庫を検討しているという声が多くありました。池田として農家のために何が出来るのか改めて考える機会となりました。



◆場面に合わせた水稲用肥料

今回の肥料コーナーでは水稲用肥料をメインとした肥料の紹介を行いました。育苗時・元肥におすすめの肥料や倒伏軽減・ミネラル補給時の土改良の紹介、追肥の場面では無人ヘリで散布可能なみどり空散など稲の生育ステージに合わせた商品紹介を行いました。会場では連作した圃場での生育不良や追肥時の省力化・稲刈り前の倒伏に困っているという声が多かったです。生産者の方々から今年の生育状況や現在使用している肥料等を教えて頂き、栽培方法や要望に合わせた肥料提案を行いました。



◆病害虫・雑草に合わせた農薬

問い合わせの多く寄せられた内容で、水田の雑草（※オモダカ）の防除対策の相談がありました。オモダカに有効な初期除草剤の「スウィープフロアブル」を紹介させて頂きました。オモダカとは塊茎（イモを作って殖える雑草）にきれいな白い花が咲きますが、その開花時期に地下で新たな塊茎は形成。翌年以降さらに繁殖するため県内全域で難防除雑草となっています。その他で園芸農家様からのネギ・キャベツ・トマト等の野菜防除体系の相談があり、それぞれに合ったご提案をさせて頂きました。



【お問い合わせ先】 株式会社池田 グリーン&アグリ事業部 本部

〒015-0051 秋田県由利本荘市川口字八幡前 261

TEL 0184-22-2228